

第2回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

開催日時 平成30年11月29日（木）午後7時～8時35分
開催場所 南砺市役所福野庁舎 2階201会議室
出席者氏名 三谷直樹会長、西井秀子副会長、磯辺文雄委員、内山真寿美委員、河合朱希代委員、斉藤和枝委員、富田利通委員、中島仁司委員、中西一夫委員、畠中昌代委員、本多篠依委員、築田晶子委員、山田誠委員、横山一乃委員（14名）
事務局 高田勇（教育長）、酒井啓行（教育部長）、河原洋子（保健センター所長）、武田秀隆（こども課長）、溝口早苗（こども課）、吉岡亘（こども課）、谷戸仁美（こども課）
委託業者 アシスト(株) 田口祥一 主任研究員
欠席者氏名 荒井有紀委員、奥野康宏委員、北清俊一委員、斉藤優華委員、城岸栄委員、中井邦夫委員（6名）
傍聴人数 0名

1. 開会

2. 会長あいさつ

会長 前回7月24日が第1回で、本日が第2回である。子どもをとりまく情勢が変わってきていて、働き方改革等で、女性の就業率が上がったり、定年が延長になったり、忙しい方が増えてくる。また、外国人入管法で、外国人のお子さんをどうやって受け入れるか、習慣の違いでトラブルにならないよう、コミュニケーションをとっていく必要がある。本日は、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けてのニーズ調査等が議題であるが、これらのことも念頭において、活発な議論や、質問等いただきたい。

3. 協議事項

事務局 資料の確認、会議の公開等について説明。

会長 最初に協議事項（1）子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援の施策展開）の追加事項について。

事務局 資料1に基づき追加事項について説明。

南砺市子ども・子育て支援事業計画「次世代育成支援の施策展開」の施策④「仕事と子育ての両立の支援」に、「放課後子ども総合プランの推進」事業を追加し、放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携を取りながら、一体型を中心とした実施を推進し、すべての児童の安全安心な居場所の確保に努めます。

会長 資料1の事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

会長 対象は学童だけで、保育園児は入らないか。

事務局 小学生のみが対象となります。

A 委員 放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いは何ですか。

事務局 放課後児童クラブは、保護者が就労のため昼間いない家庭の小学生を対象に、放課後等に預かる学童保育のことで、放課後子ども教室は、すべての小学生を対象に、放課後等に学習や、さまざまな体験活動をする事業のことで。

B 委員 平成31年度の目標値が2か所となっているが、2か所の見通しはありますか。

事務局 井波児童館「きぼりっこ」で、平成30年度から、NPO法人「なんと元気」がだれでも参加できる学習支援を行っている。また、「アルカスのびのびひろば」を平成30年度に福野B&G海洋センターに移設し、今後、一体型を推進していきたい。

C 委員 一体型とは何が一体型なのか。

事務局 放課後児童クラブと放課後子ども教室を、学校等同じ場所で開設し、だれでも参加できるようにするのが一体型ですが、同じ場所で連携して活動するのは難しく、今後、推進に努めたい。

会長 次に協議事項（2）第2期子ども・子育て支援事業計画策定について。

事務局 資料2について説明。

この「子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て支援法において、国が示す基本方針に則して、5年を1期とする支援事業計画を定めるものとされている。「南砺市子ども・子育て支援事業計画」の第1期は、平成27年度～平成31年度までの5年間となっているため、第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画（平成32年度～平成36年度）を策定する必要がある。

今年度は、その準備段階として、各種事業の現在の利用状況や今後の利用希望を把握するために、ニーズ調査（アンケート）を行いたい。

調査票の配布・回収方法については、3（1）のとおり、「就学前児童の保護者」については、各保育園等の施設を通して配布し、各施設への提出または郵送による回収としたいと考えており、「小学校児童の保護者」については、各小学校各を通して配布し、郵送による回収としたいと考えており、「妊産婦」については、郵送による配布・回収としたいと考えている。

続いて、資料3について説明。

この第1期子ども・子育て支援事業計画を策定する際（5年前の平成25年度）、アンケート調査

票のひな形が国から掲示され、このひな形の内容を踏まえて南砺市としてのアンケート調査票を作成し、実施している。今回は、第2期子ども・子育て支援事業計画策定にあたっての手引しが、国から示されたため、この手引しに基づき、ニーズ調査支援業務を委託することになったアシスト㈱のアドバイスもいただき、3種類のアンケート調査票の（案）を作成した。

アンケート調査票の（案）の中で、赤色で表示してある部分が、5年前のアンケートから、新しく追加した設問や項目で、変更していない設問が多いのは、5年前のデータとの比較をすることがねらいである。変更となった赤色の部分を中心に説明する。

会長 資料2、資料3の事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

D委員 22ページの間34は、該当者でないとわからない設問がある。回答に「わからない」をつけ加えればどうか。

事務局 「わからない」をつけ加える。「わからない」が多いとPRが足りないことになるので、PR方法についても検討していく。

E委員 設問が多すぎて、疲れるのではないかと。前回もこんなに多かったのか。

事務局 前回もこの内容で実施しており、現在の利用状況や今後の利用希望を把握するために、ご協力をお願いしたいと思っている。

F委員 22ページの間31の回答欄は、左側が満足度が低く、右側が満足度が高くなっているのに、間34の回答欄は、左側が充実していて、右側が充実していないとなっているので、統一すればどうか。

事務局 統一するように修正する。

G委員 17ページの間29の回答欄に、「月額」を加えればどうか。

事務局 「月額」を加えるように修正する。

副会長 アンケート用紙が「就学前児童の保護者」と、「小学生の保護者」と、「妊産婦」の3種類あるが、最高3種類のアンケートを送付する場合もあるのか。

事務局 小学生と保育園児の子どもがいて、さらに妊産婦であれば、3種類のアンケートを送付することになる。

副会長 前は、「中学校2年生」用のアンケートがあったが、今回はないのか。

事務局 国の手引きには規定されていないため、今回は「中学校2年生」には実施しない。

会長 「病児保育」に関する設問があるが、「病児保育」を開設するのか。

事務局 こども課と地域包括医療ケア部と連携し、平成31年度の途中に、南砺市民病院内に開設できればよいと考えている。また、ニーズの裏付けをとるために、設問に入れている。

H委員 22ページの間34の内容をもっとわかりやすくすればどうか。

事務局 専門的な言葉ではなく、わかりやすい言葉で見やすくなるように修正する。

I委員 23ページの間36に自由記載欄があるが、前回、自由記載欄で書かれた意見を反映されているのか。

事務局 前は、病児保育や、保育料の軽減・無料化に関する内容が多かった。病児保育については、平成31年度に実施できるように進めている。

会長 3ページの間1で、お住まいの「地区」となっているが、一般的には、「地域」ではないか。

事務局 国の手引きに基づいて「地区」としていたが、「地域」に修正する。

副会長 16ページの間25で、9.「放課後等デイサービス」が新たに追加されたのではないか。

事務局 「放課後等デイサービス」は、新たに追加された項目であり、赤色で表示すべきだった。

続いて、資料4、資料5について変更となった赤色の部分を中心に説明。

また、8ページの間34の保健センター事業で、①「マタニティ教室」が平成29年度から廃止になっているので、「マタニティ教室」を削除し、③「7か月児離乳食相談」が「5か月児離乳食教室」に変更になっているので修正を依頼する。

会長 資料4、資料5の事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

会長 「マタニティ教室」が平成29年度から廃止になったのはどうしてか。

事務局 「マタニティ教室」は、産科医療機関で開催されており、必要性が薄れてきた。

D委員 2ページの間9の出産はどこでしたかの設問に、「1. 健診を受けている医院・病院（南

砺市内)」の回答があるが、南砺市内にはないのではないかと。

事務局 南砺市内にはないので、「南砺市内」を削除する。

G 委員 問 11 の実際に何人のお子さんを持つ予定かの設問は実際の人数のことか。

事務局 問 11 は、実際の人数ではなく、あくまでも実際に何人のお子さんを持つ予定かという考えを記入してもらうものです。

G 委員 妊産婦の調査対象が、平成 29 年 11 月から平成 30 年 10 月までに妊娠届出をされた方となっているが、同じ人が妊産婦と就学前児童の 2 種類のアンケートが送付されるのではないかと。

事務局 妊産婦を優先し、同じ人には、就学前児童を送付しないように調整する。

G 委員 2 ページの問 7 に「マタニティ教室」の設問があるが、マタニティ教室は開催していないのではないかと。

事務局 マタニティ教室は開催していないので、この設問は削除する。

I 委員 アンケートの実施時期を 12 月は忙しいので、1 月にすればどうか。

事務局 アンケートの集計作業等があるので、実施時期は 12 月としたい。

副会長 アンケートの提出日が、12 月 28 日までとなっているが、期間が長ければ回収率が上がるわけではないので、早めればどうか。

事務局 委員のみなさんの意見を聞いて、12 月 25 日までに修正する。

G 委員 小学生用の提出が、郵便ポストへ投函となっているが、回収率を上げるなら、小学校へ提出の方が良いのではないかと。

事務局 学校の事務作業が大変なことから、学校と協議をして、今回から郵送となった。

G 委員 小学生用のアンケートで、提出日等が記載されている「ご記入にあたってのお願い」が、2 ページ目にあるが、他の 2 種類のアンケートと同じように、1 ページ目にあったほうがわかりやすいのではないかと。

事務局 「ご記入にあたってのお願い」は、1 ページ目に修正する。

資料6について説明。

今年度は、7月に第1回の子ども・子育て会議を開催し、本日、第2回を開催しており、今後は、12月にニーズ調査を実施し、1月から集計を開始して、3月の第3回では、ニーズ調査の速報や、計画骨子案等についてお示しして、協議したいと考えている。

また、平成31年度については、事業計画案等を作成して、子ども・子育て会議を4回程度開催して、協議いただき、平成32年3月までには第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画を策定する。

会長 資料6の事務局の説明について、質問や意見を聞かせてほしい。

特に意見なし。

会長 最後に協議事項（3）その他について。

事務局 その他の協議事項はなし。

会長 ご意見が出尽くしたようなので、これで会議を終了したい。

4. 閉会のあいさつ

副会長 活発な貴重な意見をいただいた。これからも委員のみなさんの意見を吸いあげて、市民におろしていきたい。

教育長 熱心に協議いただき、たくさんの意見をいただいた。ニーズ調査をとおして第2期子ども・子育て支援事業計画の先が見えてくる。また、その先に南砺市の未来を背負うちびっこたちの姿も描けるようになる。頻発している行政用語やわかりにくい言葉を修正し、市民の保護者に理解をもらえるアンケートを実施したい。

事務局 本日の案について、追加のご意見等あれば明日中にご意見をお願いしたい。

終了 午後8時35分